

2021年10月15日

九州向けEF510形式交直流電気機関車 「ECO-POWER レッドサンダー」の製作について

このたび当社では、九州向けEF510形式交直流電気機関車「ECO-POWER レッドサンダー」301号機を製作し、九州での運行開始に向け、車体に新たな塗装を行いますのでお知らせします。

1. 特徴

当社は2001年からEF510形式交直流電気機関車の製作を開始し、本州の日本海縦貫線や東海道線、山陽線の貨物列車けん引に使用しています。現在、九州で運行しているED76形式交流電気機関車及びEF81形式交直流電気機関車の置換用として、EF510形式を導入することとし、九州向け量産先行車1両（301号機）の製作を進めています。

今回製作するEF510形式は、本州で運行しているEF510形式とは異なる仕様とし、「JR貨物グループ長期ビジョン2030」で掲げた「グリーン社会の実現」という価値を提供するため、貨物鉄道輸送における消費電力削減に向け、交流回生ブレーキを装備します。これに合わせて、車体の塗装を変更し、従来のEF81形式（303号機等）で親しまれている銀色をベースとしつつ、「ECO-POWER レッドサンダー」の愛称は継承したデザインとします。

2. 車両メーカーからの出場日

2021年12月16日（予定）

3. 運行開始日

2023年3月（予定）

4. デザイン

